

研究者氏名：成田 一郎

調査・活動テーマ：亀崎の旧家における歴史文化遺産の調査研究と地域活性化

### 調査・活動の目的

亀崎地区の繁栄と文化を築き上げた「海」と「蔵」を基に活躍した先人の業績を研究顕彰し、そこに残る有形無形の文化遺産を伝承すると共によりよい亀崎の町づくり、発展に寄与することを目的とする。

### 調査や活動の取組内容および達成状況・成果内容

<はじめに>

「亀崎は酒を造り、半田は金を作る」と明治半ば頃言われていたが、半田中心市街地の発展は、亀崎と半田が両輪となって築き上げてきたことを物語る言葉ではないかと考える。この度の市民研究員の研究では、亀崎の旧家の歴史を探ることにより半田の旧家とのつながりが発見でき、有形無形の歴史遺産を今後中心街のさらなる発展に寄与できるものとして研究を推進した。まず、亀崎郷土文化協議会に所属する各旧家の歴史等を検証することから開始した。

<各旧家の歴史の検証>

亀崎の旧家の歴史的検証をした結果、成田一族が江戸初期より亀崎の町を築き、まとめてきた豪商であることが判明してきた。江戸中期～後期の始め頃までその影響は強く、その後伊東家が台頭し、一族が庄屋をつとめたりしてきた。

江戸後期になると成田家以外の商家が増加し、現在の半田中心街の商家と関わりを持つようになったのはこの頃からかと思われる。

明治以降、政治、経済両面で連携を取り合ってきたことがうかがえる。天堃家は商工会議所等に強く関わってきたようである。

<取り組んだ研修・行事>

- ① 亀崎の各旧家の歴史、遺産等を調査する。  
毎月の定例会で各旧家子孫より順次発表をした。
- ② 各旧家の遺産の視察研修

- ・北浦伊東家行者堂 6月26日（日）
- ・望洲楼本宅、天堃家西洋館、旧伊藤三綿店舗、旧朝倉堂醸造蔵 10月23日（日）関係者20名一般130名
- ③ 学識者による講習会
  - ・天堃家西洋館について 5月29日（日）約30名  
講師：名古屋市立大学名誉教授・工学博士 瀬口 哲夫先生
  - ・半田、亀崎の海運と醸造について 10月22日（土）約40名  
講師：半田市文化財保護委員長河合克己先生
- ④ 中心市街地旧家との交流学習会
  - ・半田萬三商店小栗家視察と交流会 11月20日（日）17名
- ⑤ 調査資料に基づく研修、文化交流会
  - ・望洲楼古文書による文化交流会 4月24日（日）関係者 約50名参加
  - ・大正度悠紀地方風俗歌屏風「亀崎の月」見学 8月3日（水）
  - ・亀崎の旧山車展示見学 8月3日（水）
  - ・「亀崎の月」観月の会 9月18日（日）

### 優れた効果・成果があがった点

- ・望洲楼古文書によって判明した事実をもとに関係者が集い意見交換できた。
- ① 立川流との関わり力神車の彫刻について
- ② 石橋組の大幕と「東様成田家」について
- ③ 犬山の殿様と三社祭の始まりについて  
これらの歴史事実に関わる立川流関係者、亀崎の旧山車を保存する関係者、犬山の関係者等幅広く多くの交流がもて、文化を共有し、結果的に町に対する思いを強くできた。間接的に町の発展に寄与できた行事となった。
- ・瀬口哲夫先生の天堃家西洋館の講演。河合克己先生の亀崎、半田の醸造、海運の講演を聞くことにより、我々が持っていた有形無形の歴史的遺産をベースとして旧市街地の関わり

をしっかりと認識できた。半田地方の発展において亀崎と半田は両輪ともいうべきもので、片方だけでは断片的な要素が観光資源として活用される恐れもあり、総合的に対応することにより大きな効果があると思われる。

#### 本学学生・教職員との関わり

企画政策課 中野恭志氏が、本会主催の研修会等に何度か参加していただき、意見交換することができた。

#### 委嘱期間終了後の今後の展望

<まとめ>

半田は豊かな歴史を持った町である。かつてその中で経済発展の中心となった亀崎地区と半田地区であり、現在の中心市街地だけで歴史を計ることはできない。その中でも亀崎は犬山公の領地として個性をもった発展を遂げ、それが下半田地区と更につながり、高い文化を築いてきたといえる。従来、歴史的な面は半田市誌でおおよそ見ることができるが、亀崎においては旧家の成り立ち、役割を知る十分な調査や資料の公開がされておらず、これらを発掘することにより、より深く地域文化の実態がわかり、町の活性化に役立てることができると考える。半田市は 28 年を観光元年として取り組み始めたが、その基本は地域の伝統文化である。表面化しているものだけでなく、奥深く追求することにより魅力的な本物の伝統文化を生かした観光活動が繰り広げられると考える。12 月 1 日に亀崎潮干祭の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、この山車文化を築いた地盤への旧家の役割は大きい。

その山車文化がさらに半田地区、知多地区全域に影響を及ぼしていった訳であり、亀崎の郷土文化を呼びおこし活性化させることは半田市中心街全域を活性化させることに繋がる重要な活動であると考えている。

亀崎における旧家の実像が判明してきており、半田市中心との結びつきの具体的かつ歴史的実態を踏まえ、中心市街地の発展に寄与するための研修を更に進化させたい。